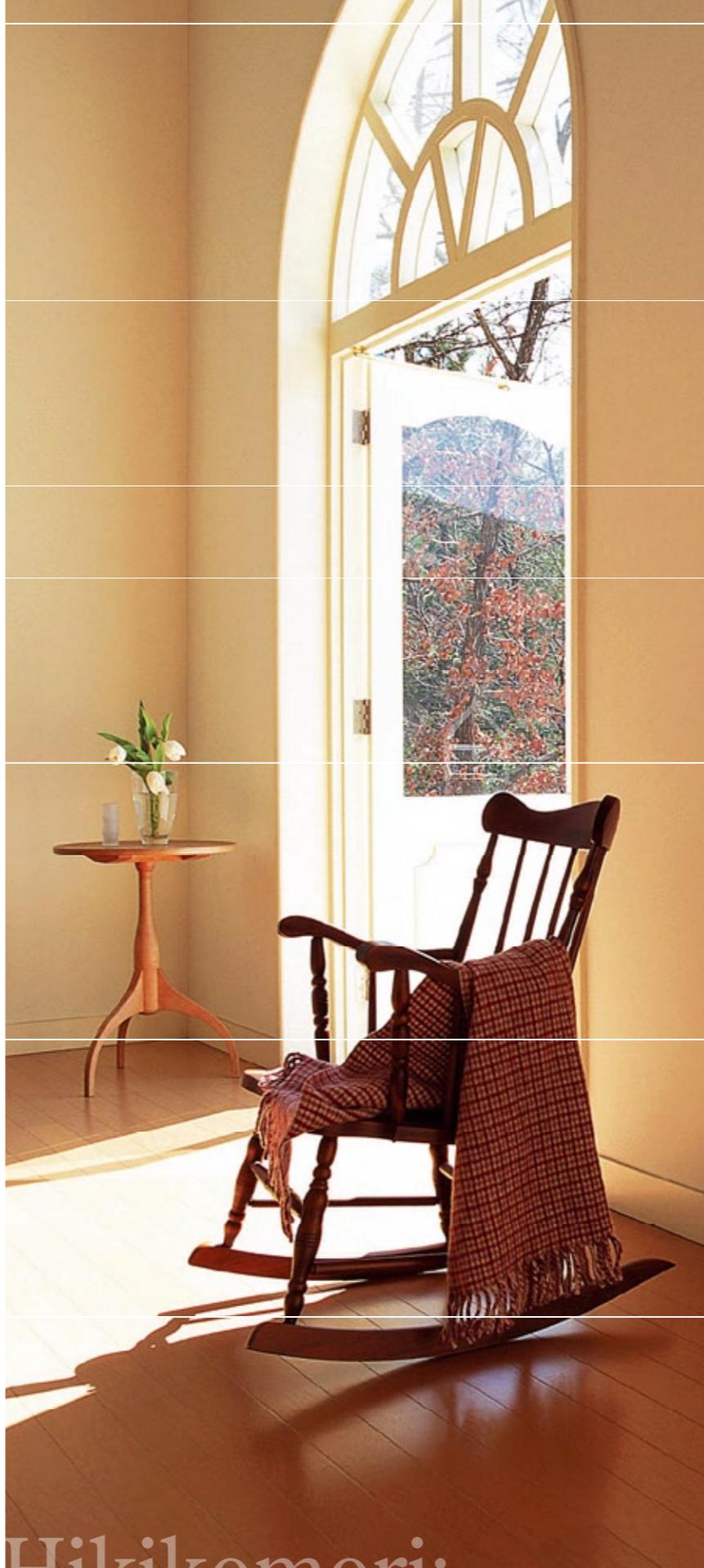


日本人家族と

「ひきこもり」の流行

「ひきこもり」という現象が日本で異常な増え方を見せていますが、ひきこもりの苦痛を治療している一人にクリスチャン心理学者、服部雄一氏がいます。服部先生の専門は、多重人格障害(解離性同一性障害)で、九十年代にこの分野での専門家として知られるようになり、著書も三冊あります。現在は、「ひきこもり」に焦点を移され、この問題での権威とされています。



米国フォーカス・オン・ザ・ファミリーのサード・オ・ルナンさんと

Hikikomori: Social Withdrawal Syndrome in Japan

―信仰を持たれたいきさつを含め、少し自己紹介をお願いできますか。

服部 はい。私は、一九四九年に福岡県で生まれました。一九九二年に、カリフォルニア州立大学で心理学の修士過程を終え、現在の狭山心理研究所を開設し、ひきこもり、多重人格障害などの治療にあたっています。

家族は妻と、長女(19才)、次女(18才)の4人家族です。日本に帰国後、長女が小学校1年から5年生まで学校でいじめにあいました。6年生になった時には、「私は、もう学校では何を話したらいいかわからない」と言いました。「これは、日本においておくのは危険だ」と思い、私の妹がアメリカに住んでいるので、向こうに移しました。それから娘はアメリカに住んでいます。家内も一緒です。それが、二〇〇一年の9月で同時多発テロの起きた、ちょうど一週間前でした。

それ以来、家族はアメリカに住み、私は日本で仕事があるので一ヶ月半に一度くらいの割合で行き来する生活をしました。今年になってから、家内は帰国しました。

長女は、アメリカの高校に入り、最初の2年間はうまくいっていたのですが、何かのきっかけで昔のいじめを思い出し、うつ症状が現れ、学校の中で2回くらい気絶しました。気を失って救急車で運ばれるほどでした。それから、だんだんいじめの記憶がよみがえってきて、対人恐怖から学校に行けなくなりました。

家内はそれですいぶん悩んで、いろいろな人に相談していました。その中の人の方がクリスチャンで、「今教会にいるから、こちらに来ない？」と誘われ、教会に行くようになりました。その教会は雰囲気がよくて、また「神さまは罪を赦してくれる」と聞き、自分を責め続けていた家内は、クリスチャンになろうと決心し、2年半くらい前に洗礼を受けました。

家内は娘がいじめにあっていたことを知らなくて、娘を責めていたところがあつたので、罪悪感を強く持っていたんです。家内が教会に行くようになってから、私も一緒にいて行くようになりました。

実は、私は20才くらいの時に教会に通っていたことがあるんですが、その時はあまり影響を受けませんでした。

しかし今回は、胸に迫るものがありました。「神さまはいる」ということが、スツと入って来たり、「イエスさまってどんな人かな？」と思ったり。

そうこうしているうちに、聖書を読むようになりました。私は心理学者なので、心理分析をします。イエスの行動を分析したら、「これは人間ではない」と分かりました。もう少しうまく立ち回れば、十字架などにかげられないですむ場面はたくさんあるのです。でも、時の権力者に逆らって最終的に十字架にかかります。

「イエスが地上に来たのは、初めから

十字架にかけられるためだ」ということが分かり、ほかのすべてを受け入れられました。自分の中でイエスさまを否定できなくなり、受洗しました。

―先生がひきこもりの問題に関わるようになったのはいつ頃からですか。

服部 二〇〇〇年に、初めてひきこもり患者に会い、これが伝染病のように広がっていることを知りました。二〇〇五年に「ひきこもりと家族トラウマ」(NHK出版)という本を書きました。内容は、ひきこもりの原因、臨床的な特徴、治療法などです。患者さんが増えて来たので、新しくセラピストを訓練して、狭山心理研究所のスタッフに加えました。現在、埼玉県狭山市と愛知県愛知御津市の2ヶ所で治療しています。どのセラピストも一日で5人から8人の患者を診ており、大変多忙な毎日です。社会的ひきこもりという現象は、日本社会の枠組みを破壊しています。そういうわけで私は、ひきこもりについての研究と治療を最優先にしています。

―ひきこもりとは、どういう状態なのか。

服部 厚生労働省は、社会的ひきこもりを以下のように定義します。

- 1 最低6ヶ月間家に閉じこもっている
- 2 家族以外に親しい人間関係が持てない
- 3 他の精神疾患の症状が見られない

4 学校や職場などの社会的活動に参加しない

言いかえると、10代から30代の男女によく見られる、自己監禁の一種です。私の臨床的経験から言えるのは、以下のことがらです。

- 1 人間不信
- 2 親子の絆の喪失
- 3 人間関係を結ぶ能力の欠如
- 4 二重人格

専門家は、全国で80万から140万のケースがあると見積もっています。

しかし私に言わせれば、ひきこもりの特徴は、実際にはどこにでもあります。日本人の60%は、症状が全面的に出てはいないひきこもり患者だと、私は見積もっています。言わば「ひきこもり予備軍」にあたる100近いケースについての臨床データを最近集めました。それによると、社会に参加している日本人の多くは、人を信頼し関係を築くのに問題を抱えています。ひきこもりは「国家的な病気ではないか」と、私は心を痛めています。ひきこもる人たちは人間関係が築けないので、伴侶を得て健全に子どもを育てることができません。適切な治療がなされなければ、この病気は日本の人口減少の一因になるでしょう。

―ひきこもりの主な原因はなんですか。

服部 単純に言えば、幼い頃の親子の絆の喪失です。それがのちに対人恐怖と人間不信につながるのです。つまり健全な

